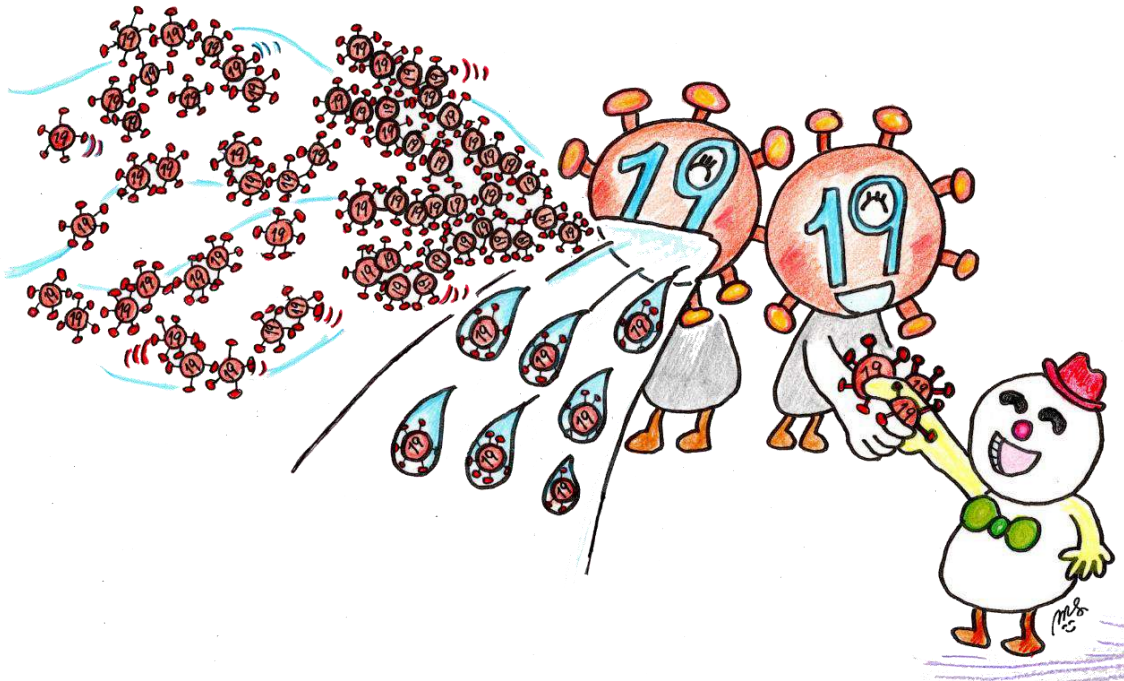


医療系学生に必要な 新型コロナウイルス感染対策

1. 新型コロナウイルスの基礎知識
2. 医療系学生に必要な感染対策



2020年3月29日(日)

✚ 日本赤十字豊田看護大学
下間正隆

① 新型コロナウイルスの感染様式

① 飛沫感染

② 接触感染



③ マイクロ飛沫



①
飛沫感染

飛沫(つばき)は
1~2m飛ぶ



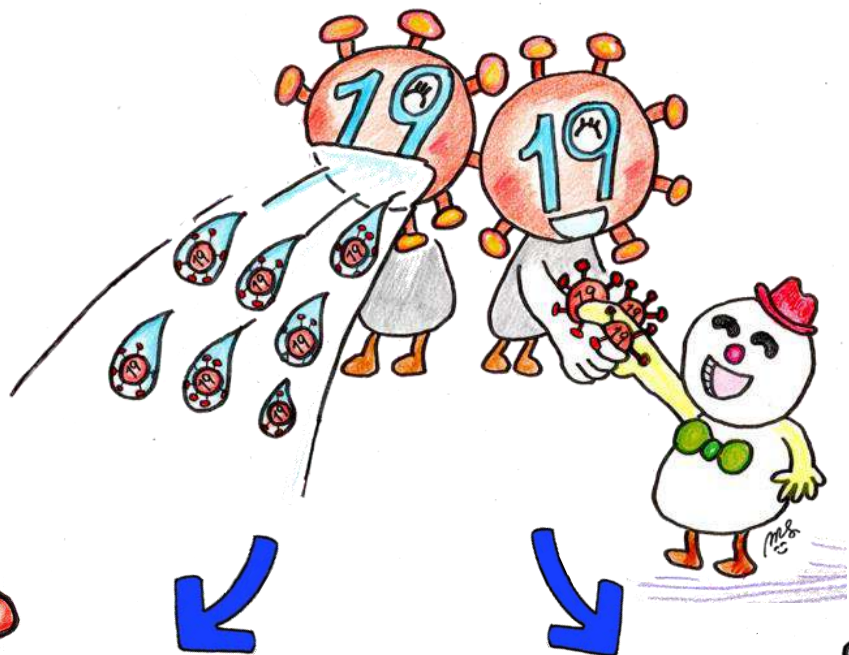
②
接触感染



飛沫感染

↑

マスク



接触感染

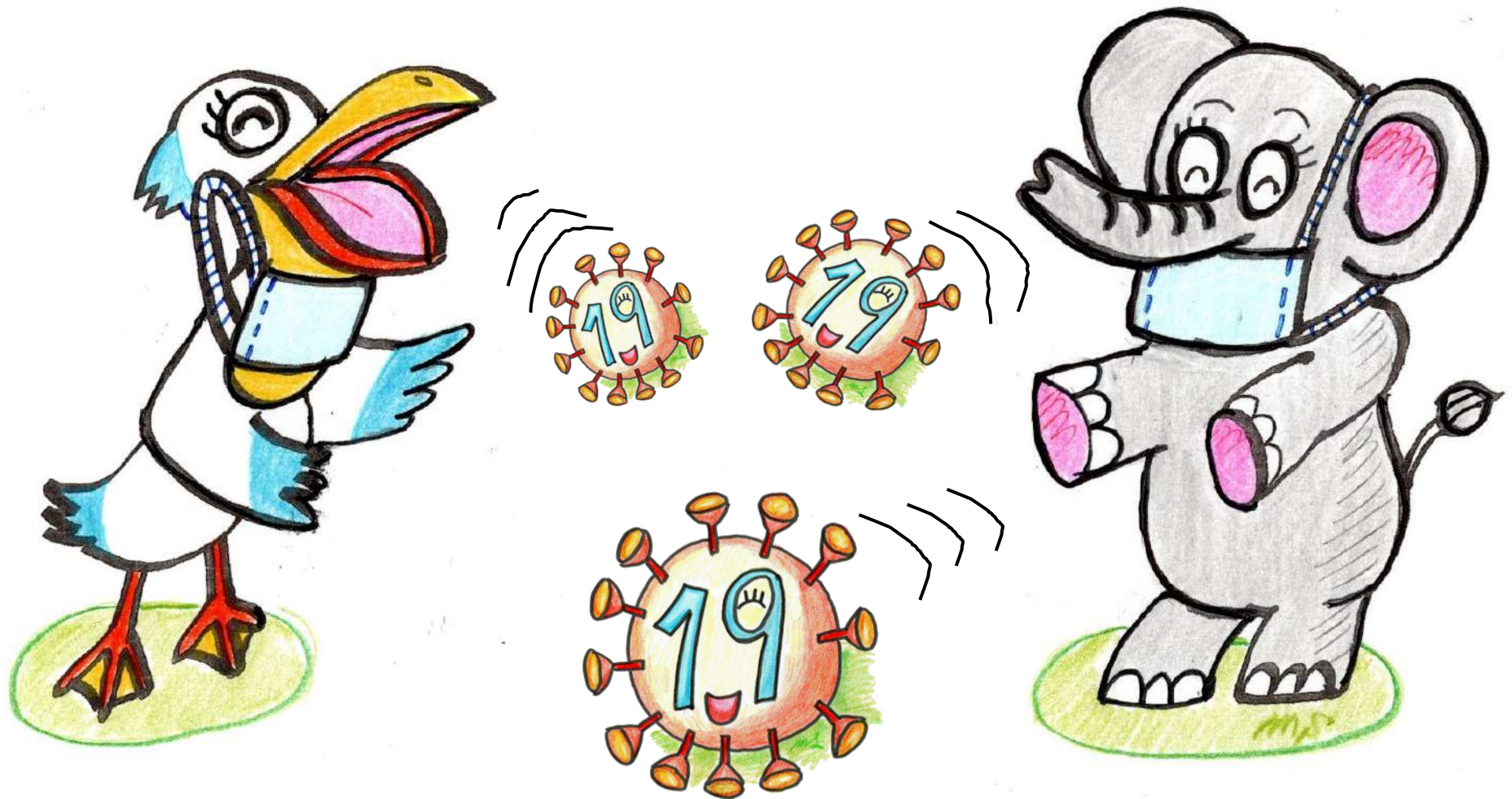
↑

手指衛生



咳のあるひとは
必ず
マスクをする

「顎マスク」や「鼻出しマスク」をしない



なぜ？

「換気」が大切なのか



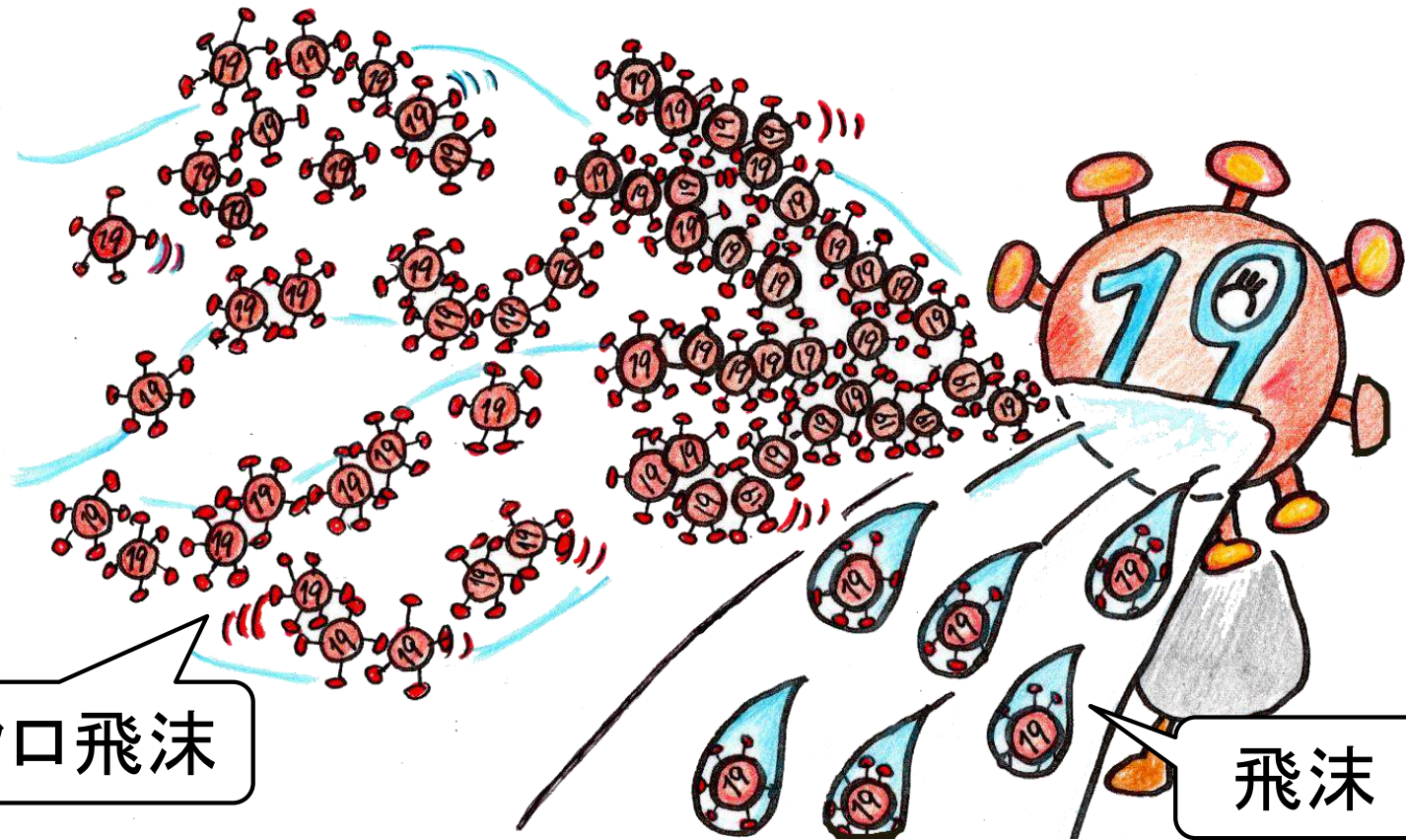
3つ目の感染の原因

マイクロ飛沫



③ マイクロ飛沫による感染

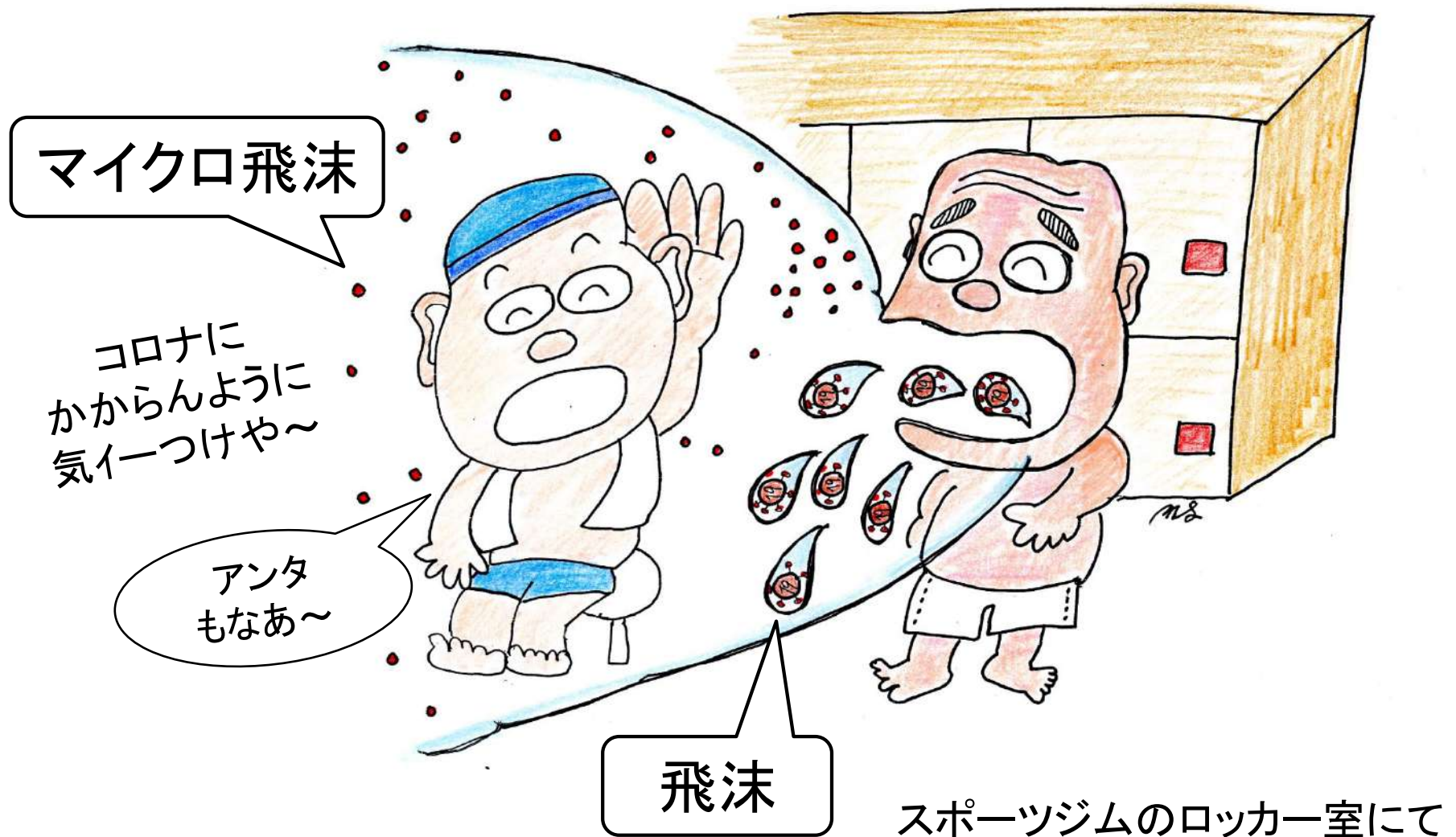
大声でしゃべると、マイクロ飛沫(100分の1ミリ以下)ができる。
マイクロ飛沫は20分たっても、空中をただよい続ける。
これを吸い込むと感染する危険性がある。



マイクロ飛沫

飛沫

大声の会話は 「飛沫」も「マイクロ飛沫」も大量に発生する

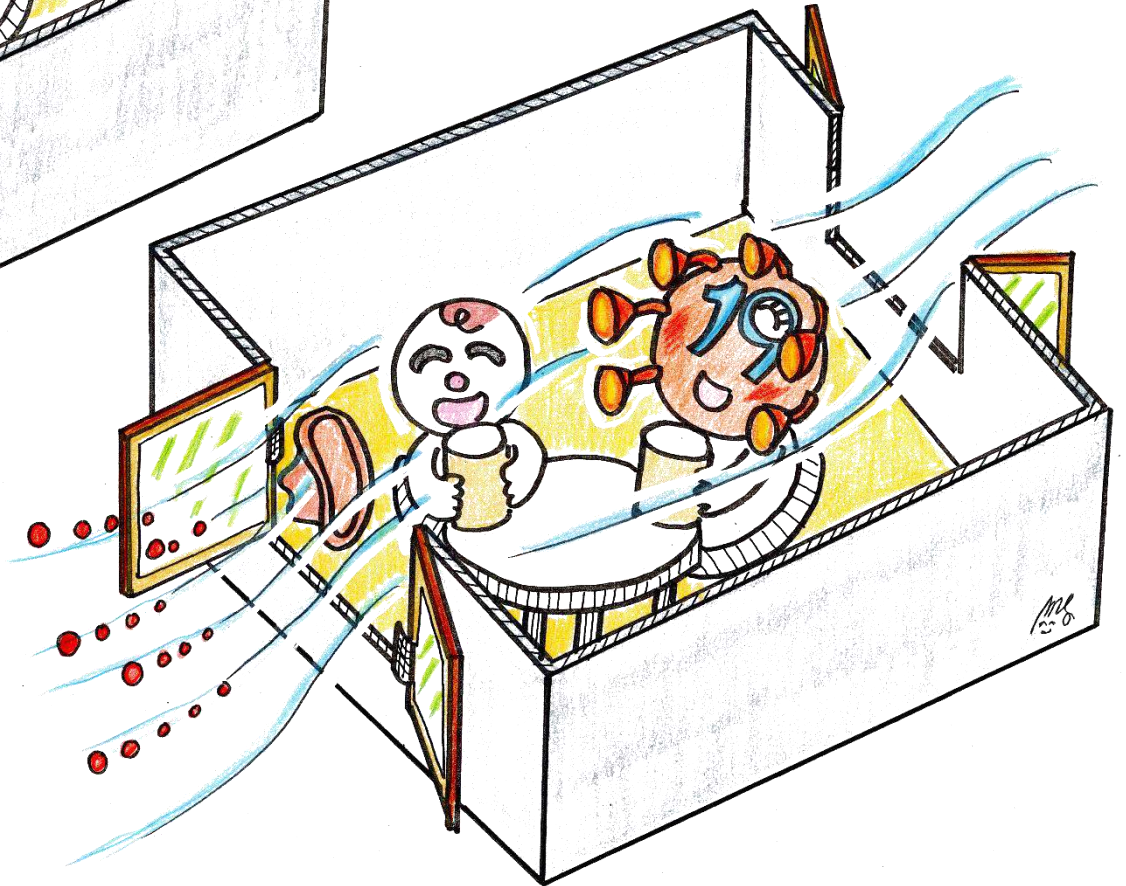


密閉された空間は危険

換気が大切



マイクロ飛沫
を吹き飛ばす

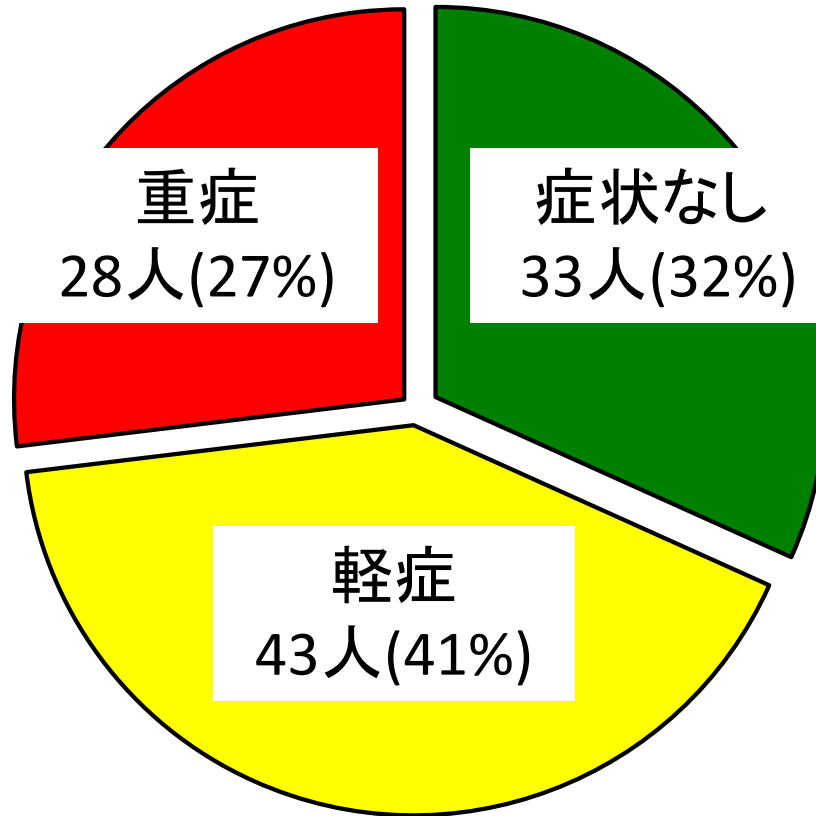


2 大学の対策

誰がウイルスを排出しているかわからない。
普段はマスクをしていても・・・

- 大学バス
 - 休憩時間
 - ランチタイム
- } が危険

PCR陽性104人の重症度 (ダイヤモンド・プリンセス号)



新型コロナウイルス
感染者の
3人に1人は
症状がなかった

平均年齢68歳
(47～75歳)

自衛隊中央病院(田村格先生)からの報告

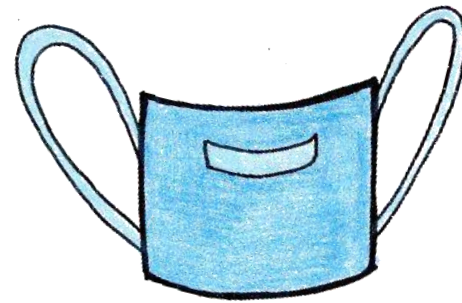
「当院におけるクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」から搬送された
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)104症例のまとめ」(2020年3月19日)
許可を得て掲載

無症状感染者でも、ウイルスは排出している！
発症者は、発症の2～3日前から排出している！
・・・可能性がある



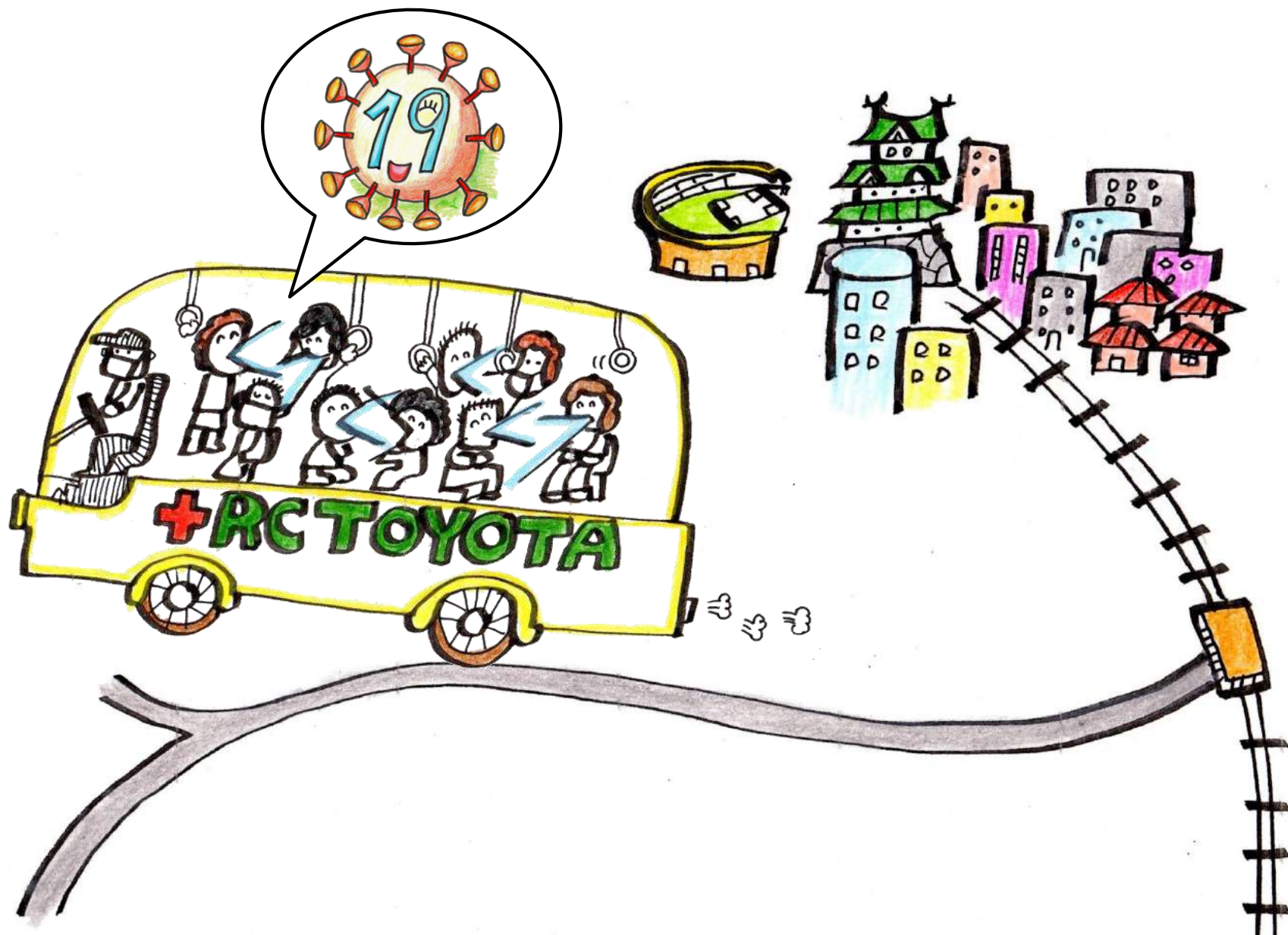
心頭滅却すれば大丈夫・・・ではない

誰が排出しているか
わからない！

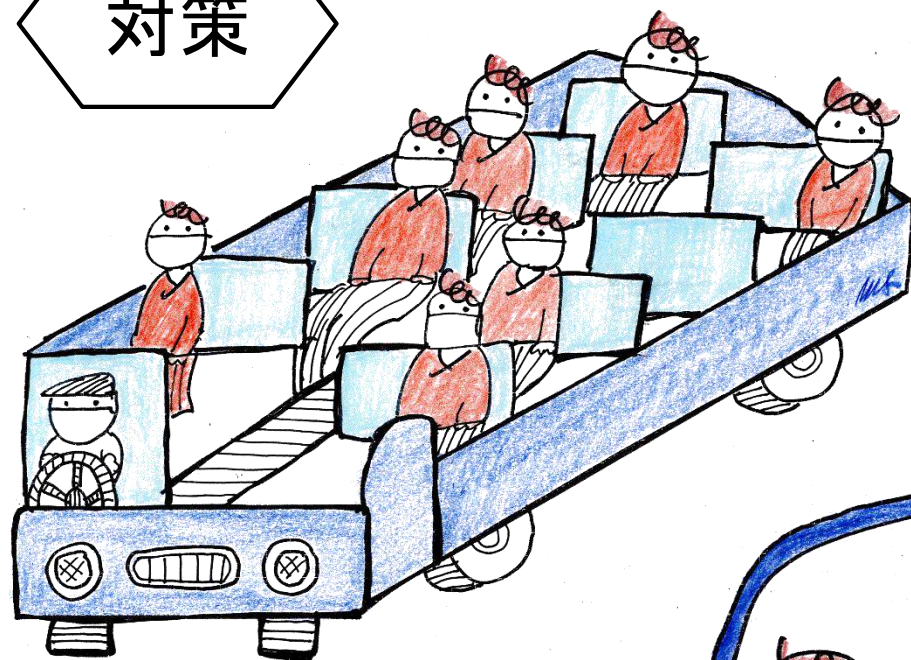


マスクは必要！

大学バスの中で濃厚接触しないように！



対策

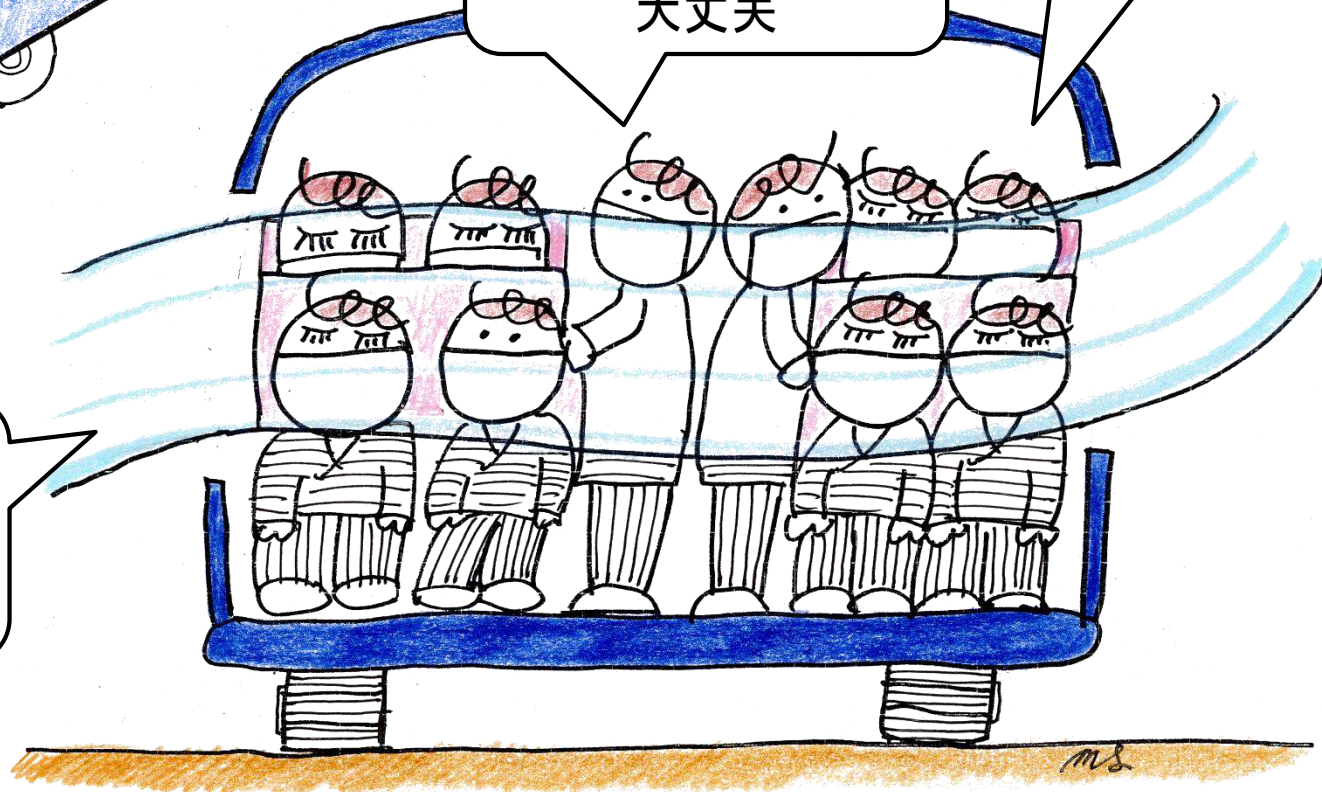


可能な限り
密集して
座らない

マスク着用
万一、咳をしても
大丈夫

降りたら
手指衛生

換気して
マイクロ飛沫を
吹き飛ばす



ms

手指消毒方法など
イラストマニュアル→

←手指消毒剤

フタ付き足踏み開閉式
← マスク専用ゴミ箱

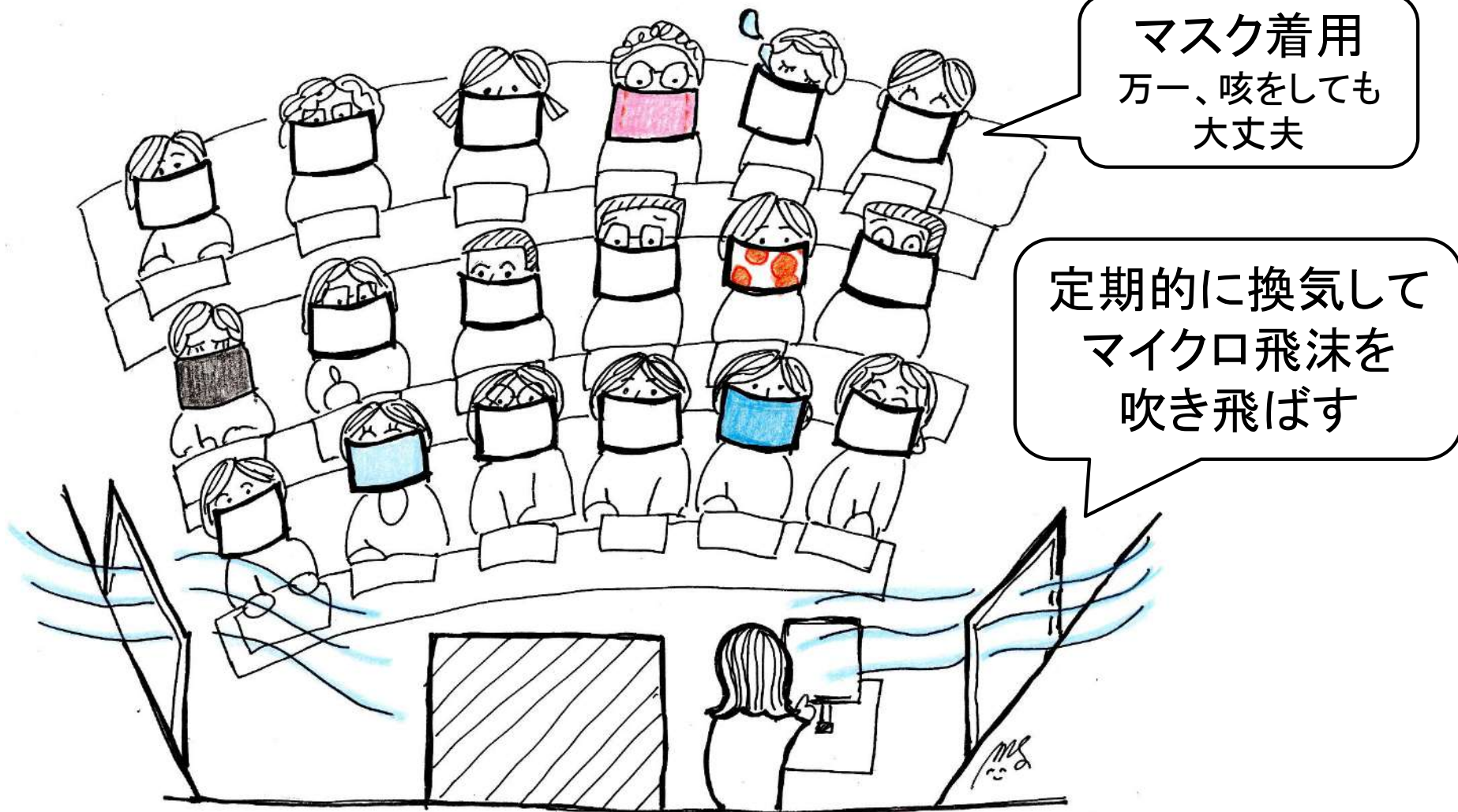
✚ 日本赤十字豊田看護大学の正面入口

大学の出入口5ヶ所に設置している



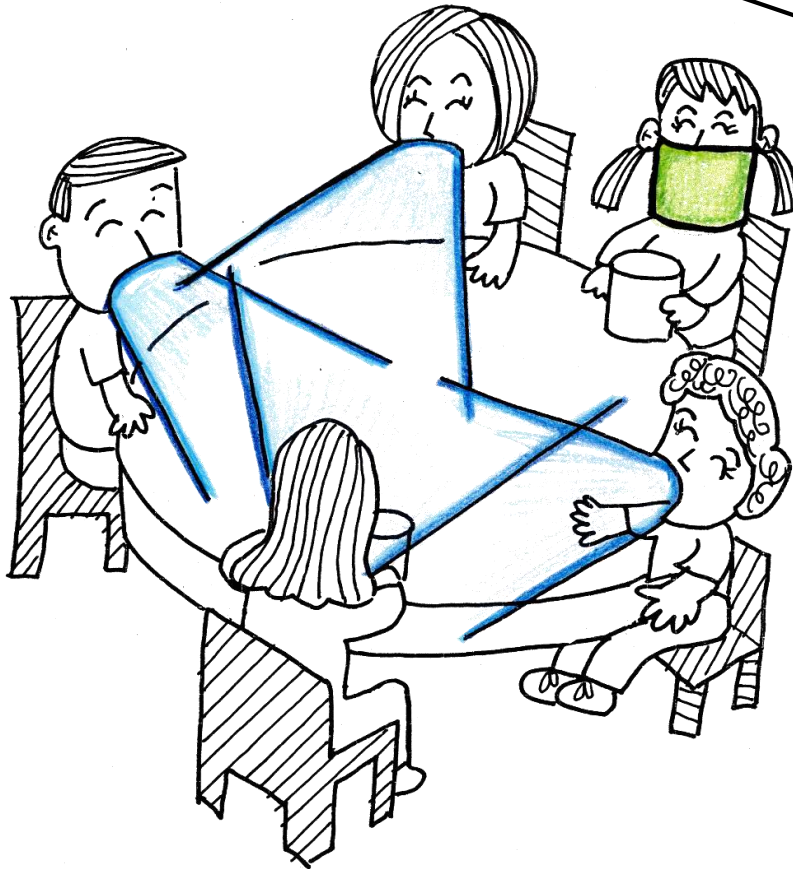
対策

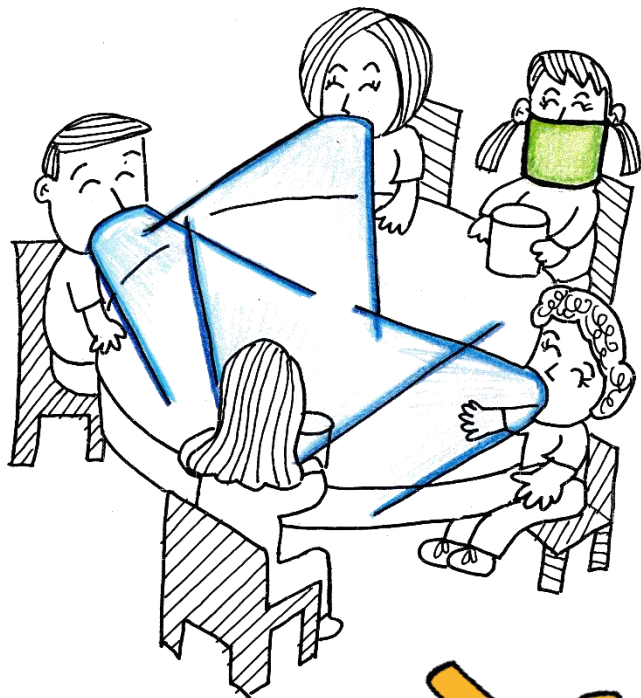
授業中は、席を固定して
万一の濃厚接触者の同定に備える



休憩時間、ランチタイムが危険

集団感染の危険がいっぱい！





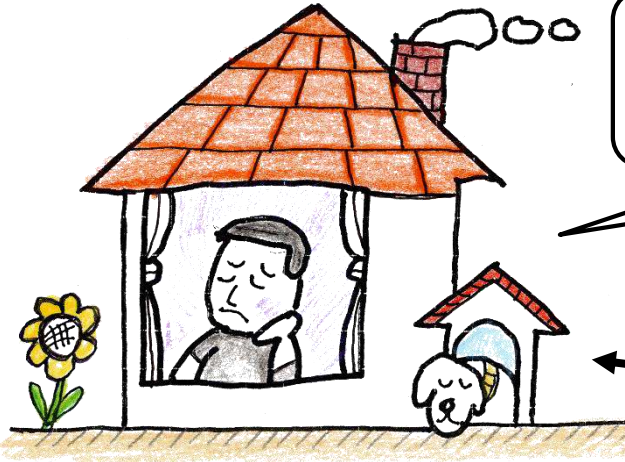
濃厚接触者とは・・・
目安として2メートル以内で
必要な予防策をせずに接触した人

濃厚接触者



PCR陽性

濃厚接触者



最終暴露から14日間、自宅待機して
発症しないかどうか、健康観察をする



濃厚接触者

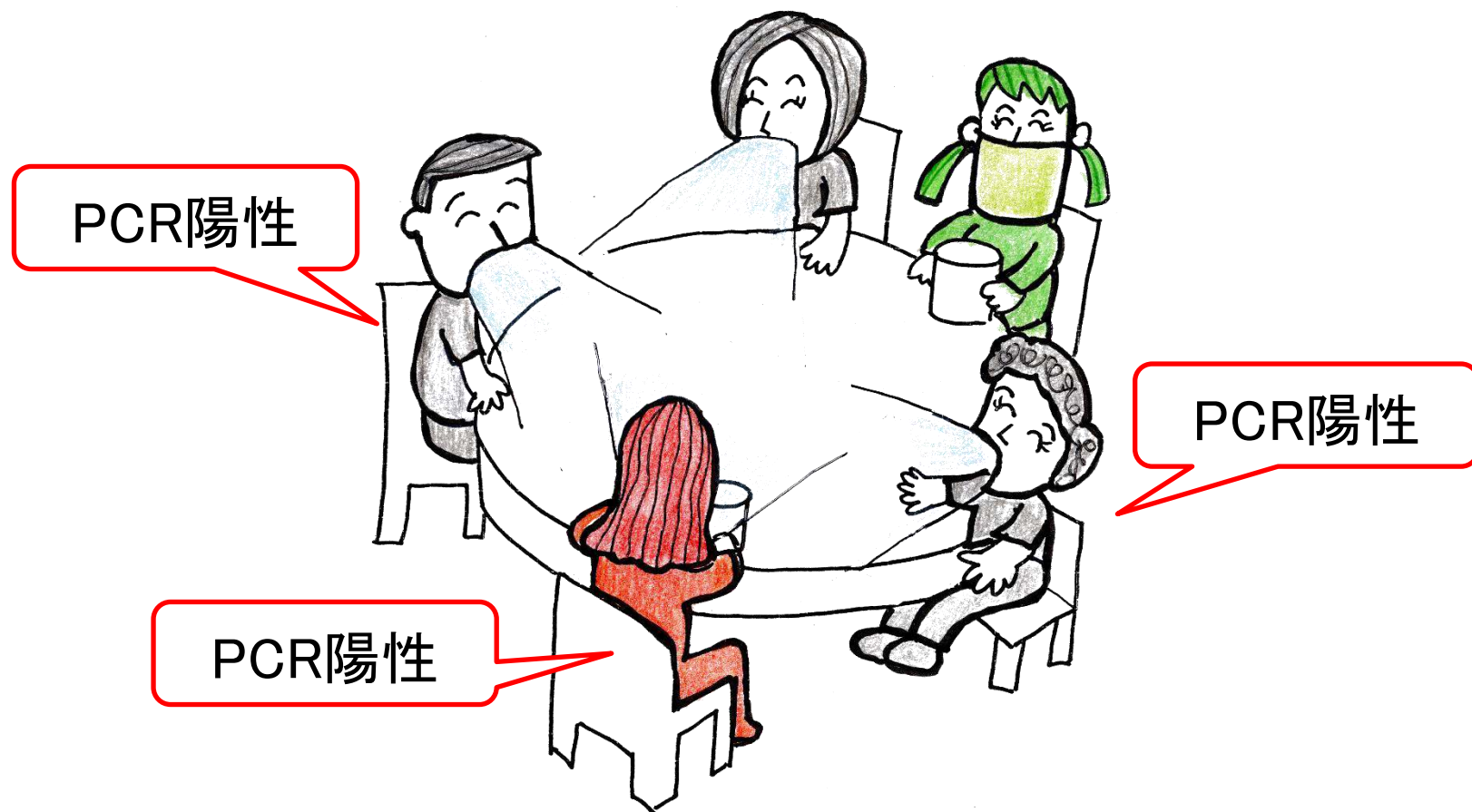
PCR陽性

病院
介護施設

実習先で、患者さんや
入所者さんなどに
うつしていなかったか
どうか・・・？

- 学年閉鎖
- 大学閉鎖
- 病院・介護施設閉鎖

感染の状況によっては
このような危険性がある



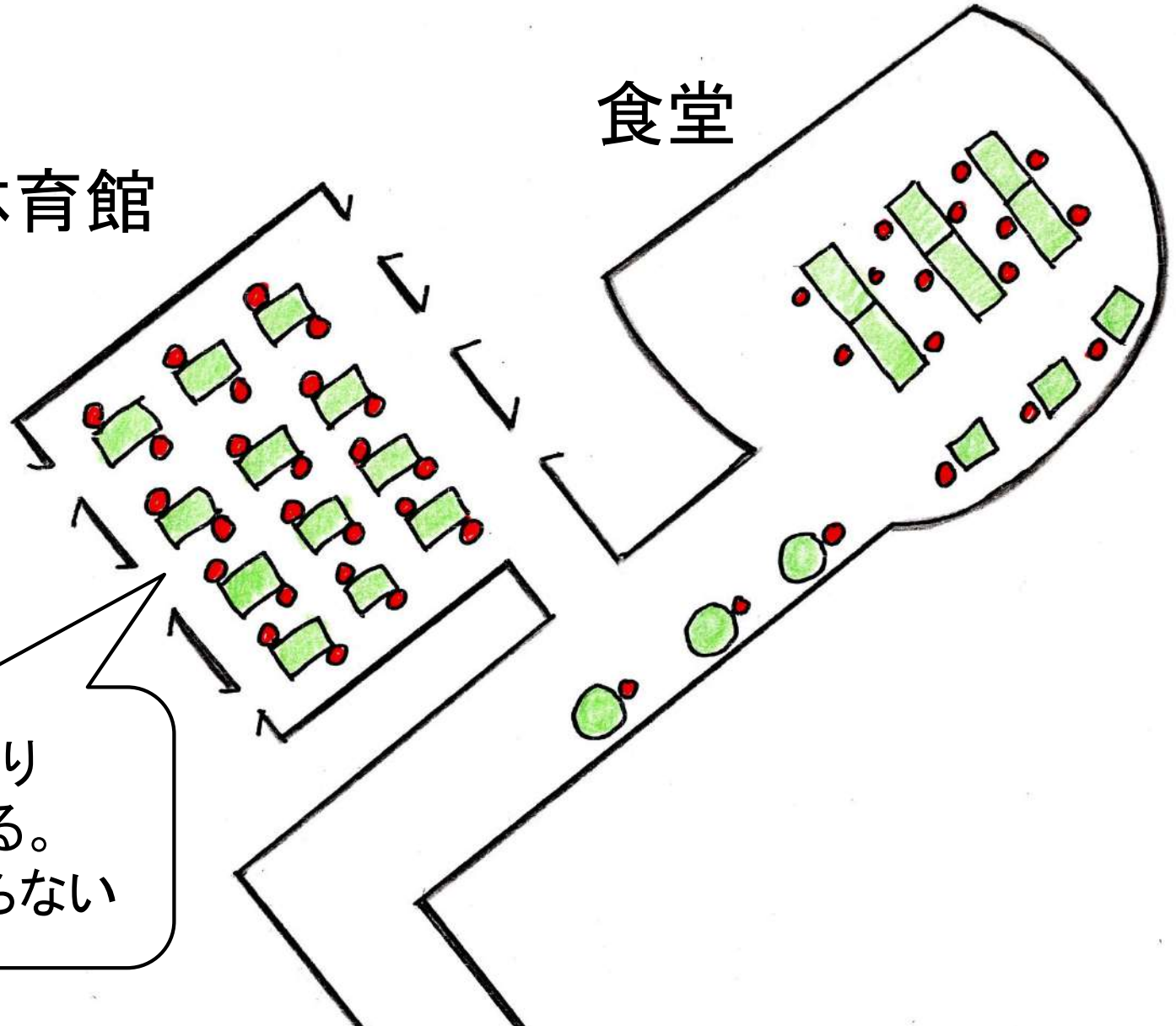
対策

濃厚接触を避けるため
食堂エリアを拡大して、席の間隔を広げる

体育館

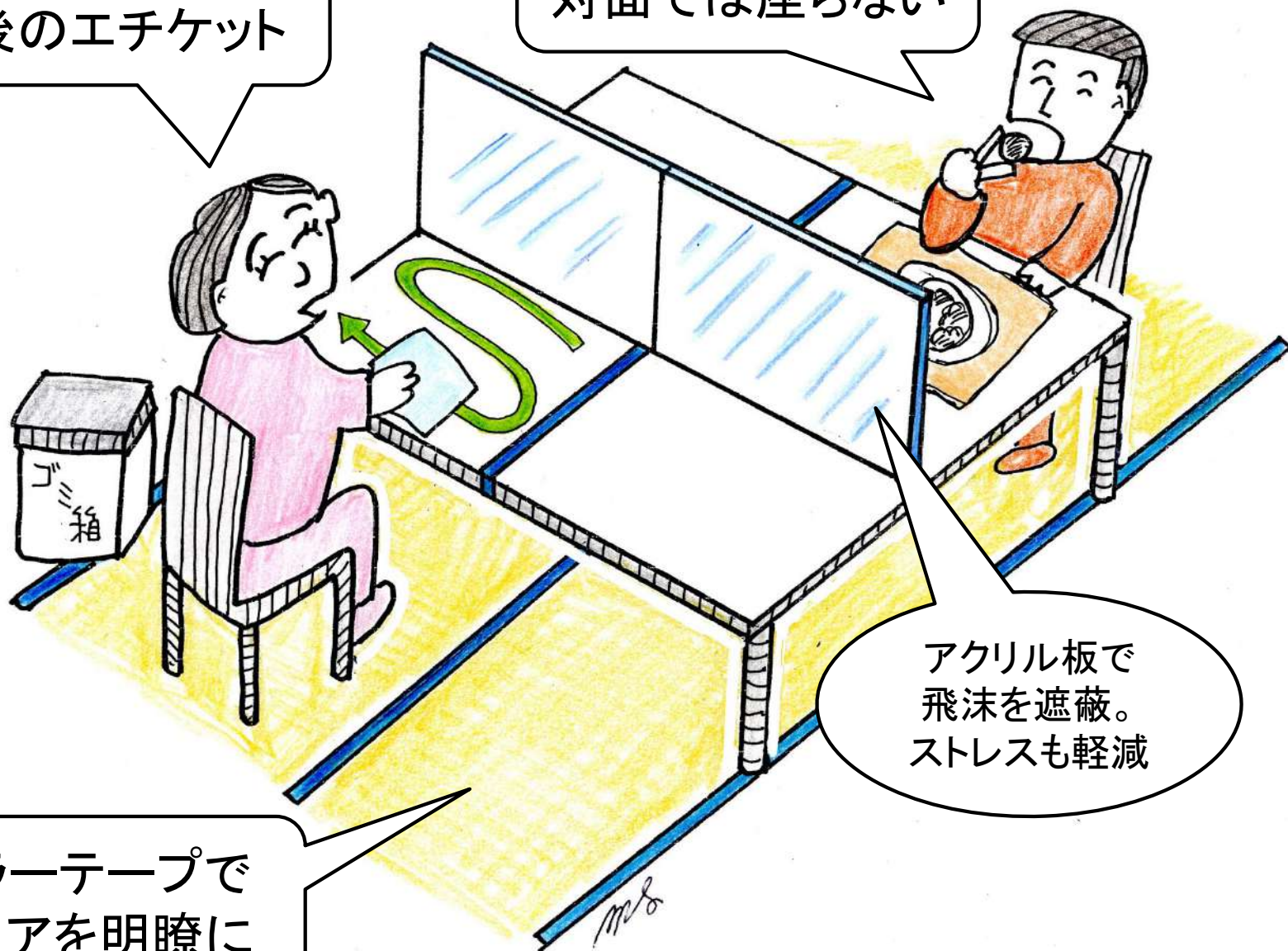
食堂

可能な限り
交互に座る。
対面では座らない



テーブルの除菌は
食後のエチケット

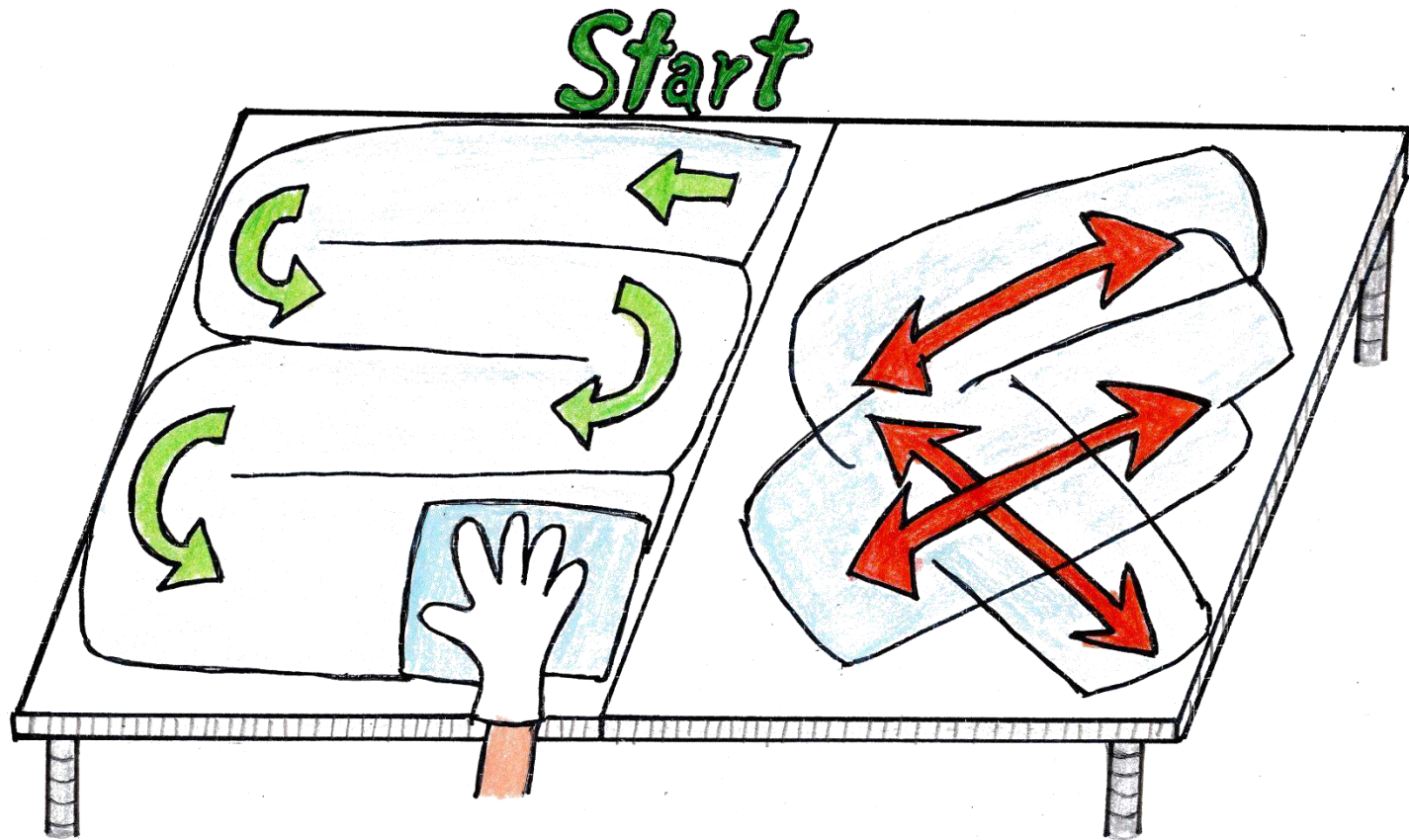
可能な限り
対面では座らない



アクリル板で
飛沫を遮蔽。
ストレスも軽減

カラーテープで
エリアを明瞭に

テーブルの拭き方 ①

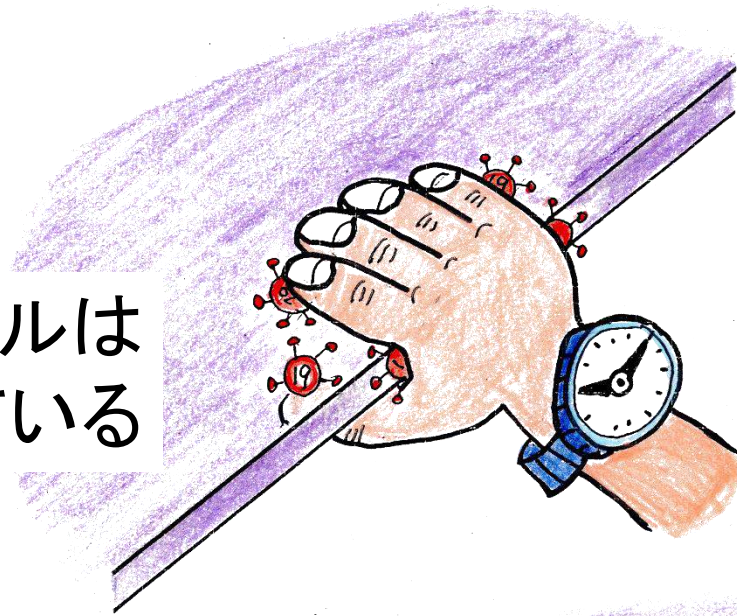


奥から手前に
一方通行で
S字で拭く

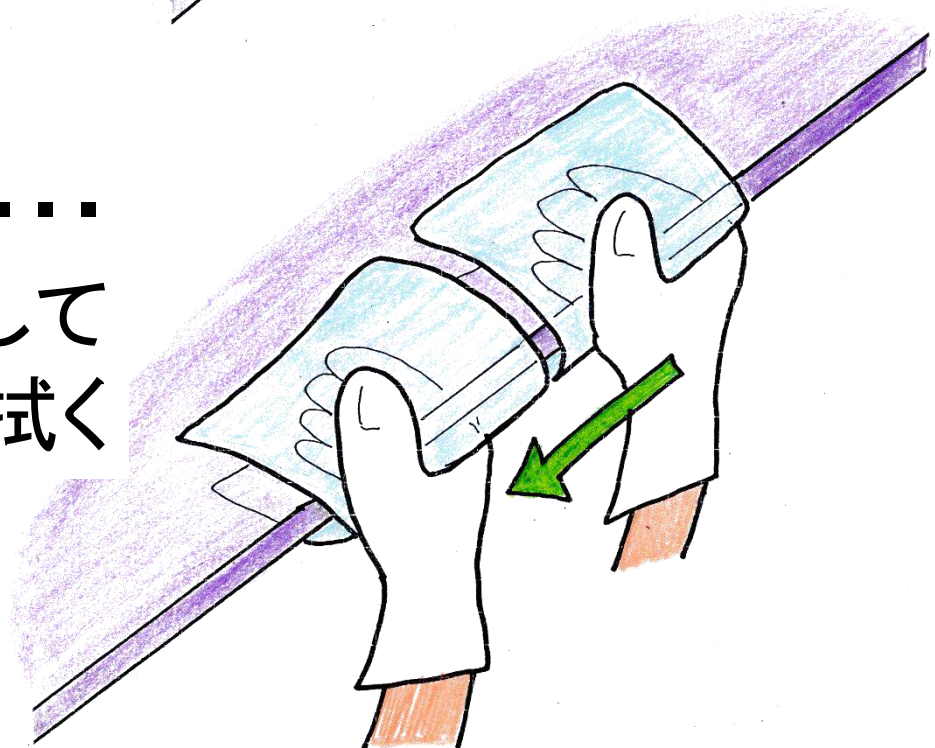
往復ワイパー式はダメ。
汚れを右往左往するだけ

テーブルの拭き方 ②

テーブルは
側面も裏面も汚れている

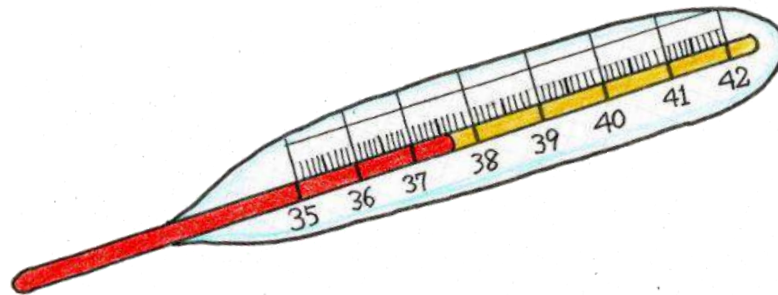


消毒の最後に・・・
親指を上にして
向こうから手前に拭く



体調が悪い時は、まず大学に電話連絡する

① 毎朝、食事前に体温を測定する



② 37度以上の発熱(基準の一例)や風邪症状のある場合は、大学へ電話連絡し、自宅待機する。

</